

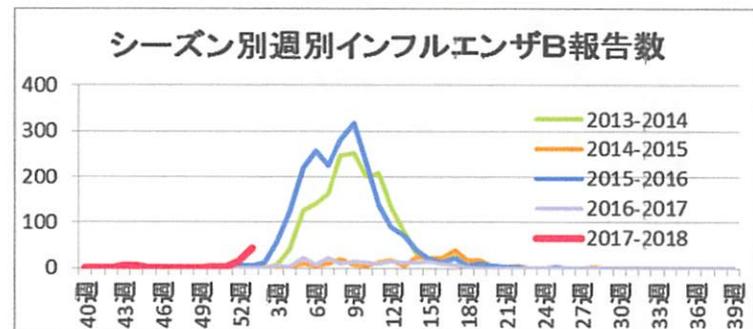
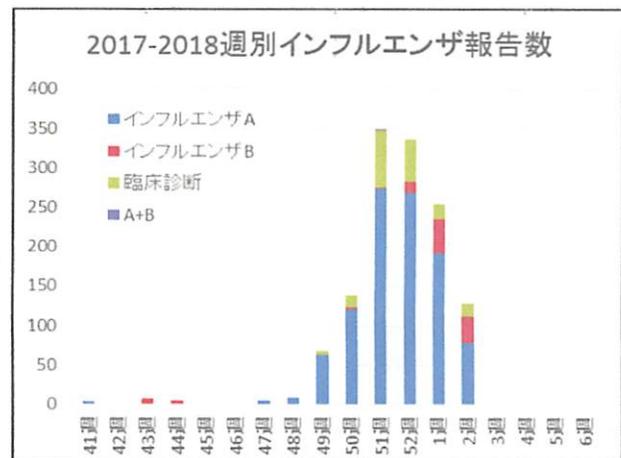
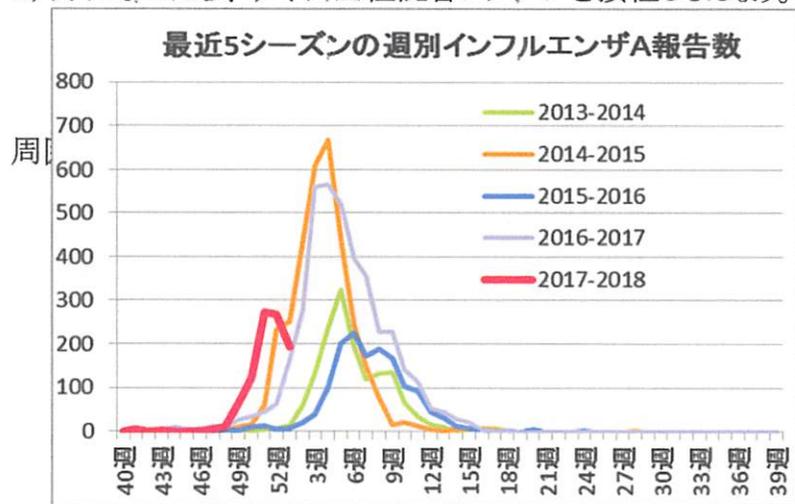
週間感染症情報

2018年1週 2018年1月1日より2018年1月7日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	2
百日咳	2
溶連菌感染症	4
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	13
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	1
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	5
RSウイルス感染症	1
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	255
インフルエンザA	192
インフルエンザB	43
A+B	

冬休みでインフルエンザの流行は一時休止です。吉備医師会での報告でも第1週は16歳以上の症例が多いです。3学期が始まり、これから本格的な流行シーズンに入ります。家族内感染した小児が、集団にウイルスを持ち込み、数日後には周囲の数人、1週間後には集団の半数程度が罹患して、2週間程度で集団の流行は終息します。今シーズンは、例年より早くインフルエンザAが始まり、またインフルエンザBの立ち上がりも早く、A型とB型の二種類のインフルエンザが流行すると予想されます。マスクの着用、咳エチケット、体調不良の場合は休むなど感染予防に努めて下さい。

百日咳菌遺伝子診断LAMP法で発症早期の診断が可能となりました。百日咳は、市内中学校の生徒です。周囲に、咳をしている症例が多く、年末にも2例あり合計4例になります。学校内で流行しているようです。6ヶ月以下の乳児が罹患すると、命に関わる無呼吸や脳症を起こします。3ヶ月になったら、すぐに四種混合ワクチンを接種しましょう。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)